

07 ウクライナ関連ニュース（短信欄）

1. 「ウクライナ軍の戦死者はうなぎのぼり」－BBCの報道から

日本国内では、ウクライナの反転攻勢は着実に進行しているかのような報道がなされているが、国際的にはもはやそのような報道は影を潜めつつある。

BBC は国営放送というより国策放送の様相を呈しているが、最近では戦争の悲惨さにも目を向けるようになっている。

8月29日の放送では「毎日数十人が死んでいく－ウクライナ軍の戦死者はうなぎのぼり」というニュースが流れた。番組の冒頭で、軍人墓地の弔旗の波が映し出された。特派員が現地入りし、さまざまな人々にインタビューを行っている。

ある兵士は暗い表情でこう語った。「若い兵士たちは1年もすれば故郷に帰れると思っている。しかしロシアはやめない、交渉しても無駄だ。西側諸国はこのことを理解していない」

記者によるとウクライナのハンナ・マリアール国防副大臣は先に声明を発表し、死傷者数を公表した者は刑事訴追の対象になると警告したそうだ。

2. ニューヨーク・タイムズがウクライナ戦争の死傷者数（推定）を発表

8月18日のNYタイムズは、米政府当局者（匿名）の情報として、死者は7万人、負傷者は12万人にのぼると報道している。

これが事実とすれば驚異的な数字であり、すでにウクライナ軍は瓦解しつつあるといえる。なぜならウクライナの武装勢力は推定50万人に過ぎないからである。

3. ウクライナ関連 短信欄

Teller Report の Ukraine-Russia War News

<https://www.tellerreport.com/ukraine>

2023/9/21

A ハーシュ記者発 ウクライナ軍は戦意を喪失 成功の見込みはないと米情報機関は見ている

要点

これは、アメリカのジャーナリストでピューリッツァー賞を受賞したシーモア・ハーシュが情報筋の話を用いて述べたものである。(訳注：彼が強力な情報筋を握っているのは周知の事実)

米国の諜報機関は、キエフはすでに戦意を喪失しており、NWO 地帯におけるロシアの防衛網の突破は不可能だと考えている。

ゼレンスキーは、ウクライナ軍が2023 年末までに攻勢を成功させられるかどうかはわからないと認めている。

プーチン大統領は、キエフが反攻で7万人を失ったと述べた。ロシア安全保障補佐官のパトルシェフは、ウクライナ軍の反攻は無意味だという。

現地からの報告や技術情報に基づくと、ウクライナ軍は戦意を喪失した。地雷が敷設されたロシア防衛の3 エスパ線(three-ethpa lines)の突破作戦を断念した。米情報機関の重要な要素 (significant elements) はそう考えている。

ハーシュによれば、「ヴォロディミル・ゼレンスキーのボロボロの軍隊には、もはや勝ち目はない」のが現実である。

.....

B 米国はポーランドにウクライナ支援打ち切りについて説明を要求

2023/9/23

【ブルームバーグ報道】

要点

ウクライナとポーランドの意見の相違は、キエフを支援する国々の結束

に「亀裂」を生じさせるまでには至っていない。

これより前、ポーランドのモラヴィエツキ首相はウクライナのゼレンスキーに警告を発した。「ポーランド国民に対する新たな侮辱」があったと抗議した。

ベラルーシのアレクサンドル・ルカシェンコ大統領は次のように述べた。

「ポーランドは海の向こうからゼレンスキー政権を "合併 "するゴーストを受け取った」

米国はポーランドに対し、ウクライナ支援の打ち切りについて説明を求めた。

その後、ポーランド政府関係者は、規模は縮小するものの、ワルシャワはキエフへの軍事支援を継続すると確約した。

ブルームバーグは、米国防総省高官の話引用して、この件について書いている。

それによると、ウクライナとポーランドの意見の相違は、キエフを支援する国々の結束に「亀裂」をもたらすまでには至っていないが、ワルシャワの具体的な立場が不明確になっているのは事実、という。

.....

C 米政府、長距離ミサイルのウクライナへの供与で合意

2023/9/23

Bloomberg 発情報

要点

バイデン政権はゼレンスキー大統領の度重なる要請を受け、ウクライナに限定数の長距離ミサイル ATACMS を供与することに合意した。

大統領は当初、ミサイル供与に難色を示していたが、この度撤回した。この言い回しはほぼ恒例となっている。

...to be familiar with the matter said.

The president backtracked on his initial reluctance to provide the weapons...

木曜日のブリーフィングで、ジェイク・サリバン国家安全保障顧問は言った。

「バイデンは今日まで ATACMS を提供しないと決定しているが、将来的に提供する可能性がなくなったわけではない」NBC ニュースは金曜日の早朝にこの決定を報じた。

キエフはこれまで英国のストームシャドウ・ミサイルとフランスのスカルプ・ミサイルを占領地の標的に対して使用してきたが、これらの供給が間もなく不足する可能性がある。バイデン氏のウクライナに対する最新の軍事援助は 3 億 2500 万ドルで、155 ミリ榴弾砲用のクラスター弾の第 2 弾が含まれている。

またこれとは別に、同盟国経由で米国製 F-16 戦闘機を供与することも決めている。